

## H30年上半期学会・研究会参加報告

今回のNST通信では、今年度（上半期）NSTメンバーが各々参加してきた研究会や学会で学んだことを報告させていただきます！

### ▼第10回 日本静脈経腸栄養学会～近畿支部学術集会



平成30年7月7日(土)に神戸国際会議場にて開催

今学会では、近畿支部会第10回を記念し、栄養療法10年の歩みを振り返り、そして見据えるというコンセプトのもと、高齢化社会、栄養と運動・リハビリテーションを中心に様々な講演が行われました。



豪雨で交通機関が不安定な状況での開催でしたが、それでも多くの方が参加され、学会は非常に賑わいを見せました！

▲ 会場入口にて撮影（↑→）

## 以下、参加された方々の感想をご紹介します

管理栄養士  
樋口 JM

今回、特に興味深かった内容は、シンポジウム1「高齢社会を支えるための栄養管理 2025年問題に向けた戦略」だった。このシンポジウムでは管理栄養士、リハビリテーション医師、歯科医師、看護師がそれぞれの職種の視点から「経口栄養」で必要とする栄養量が摂れなくなった場合に高齢者をどのようにサポートするべきか？ また、その前段階でどのようなことを考えておくべきなのか？といった栄養サポートに関する考えを、臨床場面での経験に基づき話された。

どの先生がたも、もし経口摂取が出来なくなった場合、倫理的な課題も増加しているが、一番大切なことは本人にとっての最善は何かを考え、その人を支える事が重要であると話されていた。当院では、認知症やうつ病など精神的な変化などから食事を摂取することが困難となるケースも多く、栄養管理に難渋する場面も度々ある。今回、先生がたの話を受け、日頃からその人の生活背景に関心を持ち接することや、全人的な視点での栄養サポートが重要であることなど改めて振り返る事ができた。

木島病院ではNST（栄養サポートチーム）で患者の栄養サポートについて多職種で話し合う場があり、今後も医師や看護師、その他のスタッフとの連携やコミュニケーションを十分に取しながら、治療やケアを受ける高齢者の意見を尊重し、尊厳が保たれるよう最善の栄養ケアを考えていきたいと思う。

薬剤師  
谷家

今回の学術集会について栄養士の方から教えて頂き、興味を抱いたため参加させて頂きました。4月から栄養委員会と褥瘡予防対策委員会に属しており栄養の事について触れる・考える機会が増え、今一度最先端の知識を取り入れるべきだと感じたためです。

薬剤師としてまず最低限必要なのは薬剤に関する知識ですので、今学術集会では静脈栄養についての演題を中心に拝聴しました。次点として当院の患者にも多い高齢者に関するものを優先しました。

拝聴した中で私が最も惹かれた演題は『絶食後の栄養管理による異なる転帰をとった2症例』でした。入院後に誤嚥性肺炎を併発し絶食となった症例で、当院でも多く見られる例だと感じました。2症例のうちエネルギー・タンパク質・脂質がバランスよく補給された方の症例では、経口での食事が早期に再開されADLの改善が見られたそうです。一方、タンパク質・脂質ともに補給されておらず、エネルギー充足率も低かった症例では最終的に死亡されたそうです。当院にも脂肪乳剤輸液を在庫してありますが、1年以上処方されていません。今一度当院の静脈栄養方針を見直す必要があると考えております。

今学術集会で、栄養があらゆる事象と繋がっていることを改めて強く実感することができました。感染症や褥瘡はもちろん、精神状態とも切り離せません。各委員会や各職種間でより連携を図り、病院全体で患者ADLの更なる向上を目指していきたいと感じております。

管理栄養士  
久住

これまで、いくつか学会や研修会に参加する機会をいただきましたが、JSPEN近畿支部会のような、会場が複数ある学会への参加はなく、興味のある発表を自ら調べ、タイムスケジュールを組みながら足を運ぶという貴重な経験ができました。各講演や発表はもちろん、ランチョンセミナーも興味深い内容ばかりで、どの講演を拝聴するか迷ってしまいました。

今回、特に印象に残ったのは、国立長寿医療研究センター 遠藤英俊先生による特別講演「高齢者の栄養に関するトピックス」でした。

高齢者は、食欲低下や食事摂取量の低下で低栄養となり入院期間が延長するケースが多く見られます。特に後期高齢者や認知症患者の栄養管理では、嚥下状態の把握や、食事介助や嚥下食の提供などきめ細やかな対応が必要となり、また、最近よく話題となっているフレイル・サルコペニアについても深い関連があります。今回の講演ではフレイルについて詳しくお話し頂き、知識を深めることができました。私自身、高齢者病棟の栄養管理を担当していることから、高齢者におけるフレイル予防の必要性を改めて見直し、今後も様々な角度から合併症予防に努めていきたいです。

## ▼第24回 関西 PEG・栄養とリハビリ研究会

PEGの適応や症例について積極的に本音で熱く語るといふ、日本で一番歴史のあるPEG・リハビリ関連の研究会です

看護師  
平丸 JM

### 口腔保湿ケア用品

乾燥が気になった時に手軽に使える↓



〈スプレー〉



〈ジェル〉

歯磨きと併せて使える↓



〈マウスウォッシュ〉

↑保湿の持続時間が長い

参考商品：アサヒグループ食品株式会社「和光堂」

6月16日(土)アートホテル大阪ベイタワー(大阪・弁天町)で開催された関西PEG・栄養とリハビリ研究会に参加してきました。会場は席が足らず、会場後方に椅子を追加するほどの沢山の皆さまが参加されていました。教育講演、演題ともに大変勉強になるものばかりでした。

特に印象に残った講演は、摂食・嚥下障害看護認定看護師 長谷川陽子先生の「口腔ケアの実際」の講演でした。歯科医や歯科衛生士による専門的口腔ケアを行なっている病院では、誤嚥性肺炎でのリスクを減らしたという報告がある中、そのような環境で専門的口腔ケアを実施できている病院は、まだまだ少ないのが現状です。そういった中、看護師が重要な役割を担っている、といった内容でした。看護師は急性期から終末期まで、患者様のそばで援助を提供する事ができるため、看護師が有効な口腔ケアを行うことは大きなメリットがあるのだと改めて感じました。日々の援助の中で時間的制約が多く、二の次になりがちな口腔ケアを見直し、積極的に行っていけるようにしたいと思いました。講演の中で紹介していただいた、口腔ケアのジェルは早速使用を開始し、患者様の口腔ケアに使用しています。

口腔ケアに限らず、学会や研究会に参加することで、改めて気付くことや勉強させていただくことがいつもあり、機会があればまた参加させていただきたいと思っております。

NSTリンクナースミーティングで、学会や講演のお知らせを随時行っておりますので、興味のある方は気軽にお声かけください。

### △学術集会お知らせ△

「第7回 栄養管理指導者協議会学術集会」

日時：平成30年9月23日～24日

場所：神戸国際会議場 1階メインホール